

WORKDAYの行動規範

毎日体現すべき当社の価値観



目次

CEOからのメッセージ

私たちの共通のコミットメント

- 私たちに求められる共通の責任
- 誠実なリーダー
- 私たちのコアバリュー
- 声をあげる

職場環境

- 包括的（インクルーシブ）な職場の構築
- Workdayは機会均等雇用主
- 差別やハラスメントの防止
- 薬物のない職場
- 健康と安全

信頼

- 情報を安全に保持する
- Workdayの機密情報と専有情報
- データのプライバシー
- Workdayの知的財産の保護
- 他者の知的財産の尊重
- Workdayの資産とリソース

3

誠実さ

11

4

- 適切な贈り物や接待の提供について11
- 利益相反の回避12
- 不適切な支払いを防止する13
- 責任あるAIの開発と使用14
- 虚偽のない広告15
- 公正な競争15
- 正確な記録15

6

法律と規制

16

6

6

7

7

7

8

8

8

9

10

10

10

- 貿易に関する法律16
- インサイダー取引16
- 政府、行政との関係17
- 一般への開示18
- 人権に対する当社の取り組み18

企業の社会的責任

19

- 政治的貢献19
- 慈善的寄付19
- 環境サステナビリティ19
- グローバルな影響19

ポリシーの管理、適用免除、修正

20



CEOからのメッセージ

2025年1月

Workdayのすべての行動の基盤は、誠実さです。実際、これは当社のコアバリューの1つです。私たちは考えていることのみを口にし、私たちが口にすることは私たちが考えていることです。私たちは正しいことを行い、誠実に行動し、敬意を持って他者と接することに尽力します。

行動規範を基に倫理的かつ誠実に事業を推進する方法を理解することにより、「誠実さ」だけでなく、「素晴らしい職場環境を従業員に提供すること」、「卓越したサービスをお客様へ提供すること」、「革新的な製品・サービスを届けること」、「仕事をしながら楽しむこと」、「長期的な収益力を達成すること」という、当社の他のコアバリューに焦点を合わせて事業に取り組むことができます。本規範は、Workdayコミュニティの一員として、倫理的かつ誠実に事業を遂行することを公に宣言するものです。

誠実さに対するコミットメントは、従業員同士のコミュニケーションだけでなく、お客様、パートナー企業、サプライヤー、地域社会および株主への対応にまで及びます。私たちは、Workdayの一人一人が本規範を熟読し、本規範に従うことを求めます。わからないことがある場合は本規範を読み返し、また不明な点については提起してください。直属のマネージャー、People & Purpose、およびWorkday Integrityチームがお手伝いします。また、質問や懸念事項の報告には、独立し、匿名性を維持した報告ツールである[Speak Up](#)を利用することもできます。

これからも共に、Workdayを誇れる職場として、仕事への意欲が高まる充実した環境を作り上げていきましょう。

Carl Eschenbach

私たちの共通のコミットメント

Workdayの行動規範は、単なる規則の集まりではありません。誠実さと倫理的な行動に対する揺るぎない取り組みを反映したものです。この行動規範（以下「本規範」）は、従業員から取締役まで、すべてのWorkmate（総称して「Workmate」）に法的小および倫理的に期待される事柄を定めています。当社は、常に正しい行いを実践し、最高水準の誠実さをもって、適用されるすべての法律を遵守して事業を遂行することを信条としています。本規範は、想定されるすべてのシナリオを網羅しているわけではありませんが、Workdayを代表する皆さんの意思決定と行動の指針となる明確な原則を示しています。当社は、すべてのWorkmateが本規範を理解し、遵守すると確信しています。本規範に従わないと、あなただけでなく、あなたの同僚とWorkdayにリスクが及ぶおそれがあり、解雇を含む懲戒処分といった結果を招くことがあります。

私たちのコアバリュー

私たちのコアバリューは、これら求められる事柄の基盤となり、私たちの意思決定、行動、やり取りを形作ります。これらの基準を遵守することで、私たちは、Workday、同僚、そして自分自身を守ります。これらの原則を守ることで、リスクを回避するだけでなく、困難な場合にも常に正しい行動をとることができます。



従業員



お客様サービス



イノベーション



誠実さ



楽しさ



収益力

私たちに求められる共通の責任

すべてのWorkmateには、変化を呼び起こす力があります。誠実に行動し、本規範、すべてのWorkdayポリシー、および従業員ハンドブックを遵守して、私たちは信頼性と卓越性の上に成り立つ企業文化を共同で醸成します。これらのリソースからは、複雑な状況を切り抜け、私たちの価値観を反映した選択を行うにはどうすべきかについて詳細な指針が得られます。不確実な状況や倫理的なジレンマに遭遇した場合に指示を仰ぎ、懸念事項を報告することは、奨励される行動というだけでなく、当社の高い基準を維持するために不可欠であることを必ず念頭においてください。



誠実なリーダー

当社のピープルリーダーは、倫理的な行動で満たされた環境を構築することに尽力しています。リーダーには、次のような方法で多くの人を鼓舞する独自の機会があります。

- 手本となる：あなたの行動がチームの雰囲気を決定します。
- 開放性を促進する：Workmateが恐れることなく自分の意見や懸念を共有できる安全な空間を育みます。
- 行動を起こす：倫理的な懸念には積極的かつ断固として対処します。
- ガイダンスを求める：私たちの価値観にとって難しい複雑な決定に直面したときは、利用可能なリソースを活用します。

倫理的な意思決定のフレームワーク

本規範はWorkdayにおいて従業員が直面しうすべての問題や状況に明示的に対応するものではありません。一方で、本規範には、従業員がWorkdayの一員として行動する際に従わなくてはならないガイドライン、規則、原則が盛り込まれています。本規範は、包括的なガイダンスを定めたものですが、想定外の状況が発生する可能性もあります。難しい決断に直面したときは、次のフレームワークを参考にしてください。

- その行動は合法的かつ倫理的で、社会的に責任のある行動か？
- それは本規範の精神およびWorkdayの価値観と一致しているか？
- Workdayにとって、この行動を公開することは誇れることだろうか？
- 他者の観点から利益を得られるか？

本規範に従い、このフレームワークを活用し、お互いを信頼することで、Workdayでのあらゆる活動の中心において誠実さが維持されます。私たち全員が、本規範を遵守する責任を負い、力を合わせて私たちの価値観を反映し、偉大なことを成し遂げる意欲を掻き立てる職場を構築するのです。

声をあげる

Workdayでは、あなたの意見が重視されます。ぜひ声をあげて懸念を共有してください。皆さんのご意見は当社の価値観の形成に役立ちます。当社では、行動規範を理解し、ポリシー違反や懸念事項を報告する際に役立つさまざまなリソースを用意しています。あなたの業務に関わるWorkdayガイドラインに関する質問には、マネージャーと上級幹部がいつでも答える準備を整えています。



Integrityチーム

Workday Integrityチームは、本規範、倫理的行動および企業ポリシーに関して、深い見識を備えています。 integrity@workday.com までお問い合わせください。



People & Purpose (P&P)

雇用、福利厚生、職場環境に関する懸念があれば、People & Purpose (P&P) の ask.peoplepurpose@workday.com にお問い合わせください。

P&Pプログラムについての一般的な質問や依頼は、[Service Hub](#) でP&Pに提出できます。



Speak Upツール

機密性の高いチャンネルを希望する場合は、当社のSpeak Upツールにオンライン (speakup.workday.com) または電話 (800-325-9976) で24時間いつでもアクセスできます。匿名を希望することもできますが、徹底的な調査が必要な場合に備えて、身元を明らかにし、できるだけ多くの詳細情報を提供することをお勧めします。



Employee Relations

懸念事項を employee.relations@workday.com に直接報告することもできます。



監査委員会

Workday取締役会の監査委員会に直接報告を希望する事項については、Speak Upツールを使用して監査委員会宛てであることを明記するか、法務責任者 (Generalcounsel@workday.com) に連絡するか、次の宛先に郵送で問い合わせてください。

Workday Board of Directors, Audit Committee Corporate Secretary
6110 Stoneridge Mall Road, Pleasanton, CA 94588

Workdayは、誠意をもって懸念事項を報告する個人に対するいかなる形の報復行為も厳しく禁止しています。当社はすべての報告を真摯に受け止め、迅速かつ秘密厳守で調査します。調査中はあなたの協力が不可欠です。

詳細については、Workdayの[告発と苦情に関するポリシー](#)を参照してください。あなたの意見は、当社の誠実さを維持するために非常に重要であることを必ず念頭に置いてください。Workdayは、不正行為に対するすべての申し立てをすみやかに調査します。すべての報告は、可能な限り機密性への配慮を持って取り扱われます。すべてのWorkmateには、（要求に応じて）調査に参加し、全面的に協力することが求められます。これには質問に対して偽りなくすべてを話すことや、調査の秘密を守ることなどが含まれます。調査に参加または協力しない場合は、行動規範違反になり、解雇を含む懲戒処分が課せられることがあります。



職場環境

包括的（インクルーシブ）な職場の構築

多様性に富み、インクルージョンを重視して、公平な職場環境を醸成し、従業員の誰もが大切にされ、自分の存在価値を実感できることは、**Workmate**とお客様の幸せ、優れた製品の提供にとって非常に重要であると**Workday**は考えています。すべての人のためにインクルージョン、帰属意識、および公平性を重んじること（**VIBE™**）に対する揺るぎないコミットメントにより、当社の唯一無二の企業文化が実現するのです。私たちは皆、**VIBE**において重要な役割を果たしており、**Workmate**が平等に尊重される職場の創出に取り組んでいます。これには、異なる経歴、経験、視点、見識、スキルを持つそれぞれの**Workmate**に対し、プロとして敬意を持って接することが含まれます。インクルージョンを大切にし、すべての**Workmate**のために平等な機会を設けることは、職場における絆を強化し、職場としての**Workday**の価値を高めます。

考え方を共有し、対話することはお互いのつながりを築く上で重要な部分であることを私たちは理解しています。しかし、すべての議論や行動が職場に適しているわけではありません。**Workday**では常にプロフェッショナルで礼儀正しい行動が求められており、すべての**Workmate**は、いかなる種類のいやがらせ、いじめ、偏見、違法な差別もない、互いに尊重しあう職場文化を維持するための重要な役割を果たします。

詳細情報のリンク

尊重しあう職場のためのポリシー





Workdayは機会均等雇用主

Workdayは採用、報酬、昇進、懲戒、契約終了など、雇用に関する一切の判断において違法な差別をしません。これには「保護される特性」に基づく差別が含まれます。また**Workday**は、適格である障がい者と、誠実な宗教心のもと行いを実践する人に対し、合理的配慮を図ることに尽力しています。

保護される特性には以下が含まれます。

- 年齢
- 家系
- 肌の色
- 性別（妊娠の有無、出産の有無、健康状態など）
- 性別認識、性別表現
- 遺伝情報
- 婚姻状況
- 健康状態
- 精神障害または身体障害
- 出生国
- 保護対象となる介護または病欠の状況
- 人種
- 宗教（信条、信仰、無宗教など）
- 性的指向
- 兵役歴
- その他法律で保護される事項

差別やハラスメントの防止

Workdayは、尊重、寛容、インクルージョンを重視したプロフェッショナルな環境の実現に尽力しています。差別やハラスメントは、いかなる種類であれ許されません。このゼロトレランスポリシーは、Workmate、ベンダー、サプライヤー、請負業者、コンサルタント、お客様など、コミュニティ内のすべての人に適用されます。さらには、チーム／部門サミットやオフサイト、顧客イベント、Workday主催のイベント、お客様、パートナー、見込み客を訪問する場合、およびWorkdayを代表するその他の機会を含め、すべてのWorkdayオフィスまたはイベントにも適用されます。

本ポリシーの違反に直面したら、躊躇することなく声をあげてください。あなたの声は重要であり、当社は、すべての苦情や報告を受け止めることを約束します。苦情や報告、調査への協力、適用法に基づく権利の行使は、誠意をもって行った結果であれば、雇用面で不利な措置を招くことはありません。このような保護された活動に従事する者に対する報復は、固く禁止されており、容認されることはありません。

従業員の懸念に対して私たちがどのように対処するかについては、[Employee Relations Investigations Processページ](#)をご覧ください。

詳細情報のリンク

告発と苦情に関するポリシー

ハラスメント、差別、いじめに関するポリシー

各自に該当する従業員ハンドブック、またはこれに相当する従業員向けポリシーを参照してください。

薬物のない職場

Workdayは薬物のないプロフェッショナルな職場の維持に尽力しています。勤務中であるかどうかを問わず、酒類、違法薬物、未許可の規制物質の使用は職務達成、効率性、安全性、健康に悪影響を及ぼし、WorkmateがWorkdayに対してふさわしい貢献ができなくなります。Workdayのポリシーは以下のことを具体的に禁止しています。

- 違法薬物や未許可の規制物質を所持または使用すること、また、違法薬物や未許可の規制物質の影響下で勤務すること
- Workdayの業務を遂行中に飲酒運転をすること、また、違法薬物や未許可の規制物質の影響下にありながら運転をすること
- 勤務中に違法薬物や未許可の規制物質の譲渡、配布、販売、または購入を行うこと

Workdayが主催するイベントでは、法に定められた飲酒年齢の該当者が適度に飲酒することは認められています。すべての参加者には、適切な判断力を発揮し、プロフェッショナルで責任ある行動を維持し、特定のイベントについて定められるガイドラインを遵守することが求められます。Workdayの社交イベントへの参加は完全に任意であり、参加を選択した場合、Workmateにアルコール飲料の摂取が強制されることはありません。

健康と安全

Workdayは、職場環境内のすべてのWorkmateと個人の健康と安全を最優先します。当社では、安全意識の文化を育んでおり、全員が労働災害による負傷、疾病、危険な状態を積極的に特定し、報告することが奨励されています。

Workdayは、職場における暴力を一切容認しない方針を掲げています。Workdayの施設、イベント、またはお客様のサイトでの武器の所持は固く禁止されています。当社は、すべての人にとって安全で敬意のある環境を確保することに尽力しています。



誠実さを実現するために

労働災害の負傷、疾病および／または安全上の懸念または脅威があれば、
Global Workplace Safety (グローバル職場安全) まで直ちに報告してください。
電話：+1-925-701-4444または+353(1)707-6644、電子メール：safety@workday.com

信頼

Workdayでは、信頼は私たちのすべての行動の基盤となります。当社は業界トップの安全対策を導入し、システムを継続的に監視しています。私たちは、当社の事業内容とその遂行方法について透明性を保っています。



情報を安全に保持する

セキュリティは、役割に関係なく、Workdayの全員の責任です。当社は、機密データ、システム、インフラストラクチャをサイバーセキュリティの脅威から保護することに全力で取り組んでいます。当社は、情報資産を保護し、情報の機密性、完全性、可用性を保護し、関連する法律、規制および顧客コミットメントの遵守を徹底するために細心の注意を払っています。

すべてのWorkmateは、セキュリティインシデントを速やかに報告し、必要に応じて調査を支援する責任を負います。

詳細情報のリンク

Security Documentation Confluenceページ

Oktaのセキュリティポータル

Workdayの機密情報と専有情報

Workdayの従業員は、Workdayおよびそのお客様、サプライヤー、パートナーに関連する機密情報や専有情報に定期的にアクセスします。この情報を保護することは、Workdayと当社の利害関係者にとって非常に重要です。

機密情報または専有情報の例を以下に挙げます（ただし、これらに限定されません）。

- Workday情報：製品ロードマップ、未リリースの機能、財務データ、社内のコミュニケーション、従業員情報
- パートナー情報：共同プロジェクトの詳細、お客様リスト、価格モデル、およびWorkdayとパートナー間で共有されるその他の機密データ
- お客様情報：お客様からWorkdayに委託された個人情報またはビジネスデータ

機密情報を共有する場合は、業務上知る必要があるWorkdayの従業員とのみ共有してください。家族や友人など、Workday外部の人とそのような情報を話し合うことは避けてください。機密情報が誤って漏洩することのないよう注意し、Workdayについて情報を公開する場合にはその内容に注意してください。

外部のコンサルタントやアナリストが、市場や特定の製品に関するあなたの見解に対して報酬を申し出てきた場合は、断ってください。そうしないと、Workdayやそのお客様、サプライヤー、パートナーの機密情報が危険にさらされるおそれがあるだけでなく、エキスパート・ネットワーク・ファーム（ENF）との関わりに対するWorkdayの利益相反ポリシーに違反する可能性も生じます。

誠実さを実現するために

まだ確定しておらず、発表もされていない製品ロードマップをお客様から要求された場合は、「現在検討中です。更新されたロードマップを近日中に発表する予定です」と伝えてください。情報を無理に共有しなくても、配慮を示すことはできます。

データのプライバシー

Workdayでは、個人データの取扱方法について透明性を徹底しています。当社が、従業員、応募者、お客様、見込み客、パートナーのプライバシーを保護し、そのデータを期待どおりに取り扱っているとの信頼が得られれば、成功したと言えます。

すべてのWorkmateは、プライバシー保護の実践に協力することで、世界中のプライバシー法に従う責任を負っています。その責任を果たす方法の例をいくつか示します。

- 安全で設定可能な製品やサービスを構築し、展開することで、個人データを保護する。
- 個人データの収集を本当に必要なデータに限定する。
- 個人データを収集または処理する際に、明確で正確な通知が確実に提供されるようにする。
- 個人データは、通知に従った正当なビジネス目的のためにのみ使用する。
- 当社のサービスやサイトに入力する個人データについて、Workmateおよびお客様の指示を尊重する。
- データのプライバシーと個人データの転送に関連して、適用されるすべてのポリシーと法律を遵守する。

Workdayのプライバシー保護への取り組みの詳細については、当社の[Trustサイト](#)をご覧ください。

さらに、すべてのWorkmateは、欧州連合および英国のデータ保護当局によって承認された当社の[処理者の拘束力のある会社規程](#)を理解し、それに従うことが求められます。



詳細情報のリンク

Workdayのデータプライバシーに関するガバナンスポリシー

お客様データの取り扱いに関するポリシー

Workday従業員のプライバシーステートメント

Workdayの個人情報保護に関する声明



誠実さを実現するために

Workdayが個人データをどのように扱っているかについて懸念がある場合は、それが自分の従業員データであるか、お客様がWorkdayサービスに入力するデータであるかを問わず、ぜひ声をあげてください。Workmateには、データプライバシーに関する義務を理解し、Workdayのポリシーに違反する行為を目にした場合は適切なチームに通知する責任があります。

Workdayの知的財産の保護

イノベーションは、Workdayのコアバリューです。競争力を維持するためには、知的財産（発明、製品やビジネスのアイデア、クリエイティブなコンテンツ、その他貴重な情報など）を保護する必要があります。

詳細情報のリンク

知的財産 @ Workday



他者の知的財産の尊重

Workdayは、倫理的な方法で競争に取り組みます。当社は、他社の許可なくその機密情報を使用しません。当該情報には、競合他社、以前の雇用主、お客様、ビジネスパートナーから得た情報が含まれます。

機密情報を他者に要求するか、他者から受け取る前に、関係者全員がWorkdayの承認を受けた機密保持契約に署名していることを確認してください。誤ってそのような情報を入手した場合は、Legal, Compliance, and Corporate Affairsに直ちに連絡してください。

Workday向けのコンテンツを作成するときは、オリジナル作品を創作してください。適切な許可なく、他者が所有するコンテンツのコピーや組み込みはしないでください。



詳細情報のリンク

Workdayのオープンソース


オープンソースに関するポリシー

Workdayの資産とリソース

Workdayは、Workmateが職務を遂行できるように情報技術（IT）リソースをWorkmateに提供します。こうしたリソースはWorkdayの所有物であり、WorkdayとWorkdayで働くすべての者にメリットがもたらされるように利用しなくてはなりません。

業務を行う際は、情報の伝達、保存、共有にWorkdayの承認を受けた方法のみを使用してください。承認されていないアプリケーションを業務上の通信に使用することはできません。また、Workdayの情報を個人の機器やサイトに保存することもできません。

個人的なITリソースの私用は限定的に認められますが、Workmateや他者の業務遂行に差し支えるようなことがあってはなりません。WorkdayはITリソースの使用を監視し、調査する権利を留保します。ITリソースを個人的に使用する際には、危険なサイトを避け、Workdayリソースを使用した個人ファイルの転送や保存には細心の注意を払うなど、Workdayネットワークのセキュリティと完全性を維持してください。



誠実さを実現するために

Workday設備を使用する際には、適切に判断してください。個人的な使用が職場環境に影響していないか、いかなる場合であっても当社のポリシーに違反していないかを、いつでも確実に確認してください。

詳細情報のリンク

Workday所有物の適正使用に関するポリシー



誠実さ

Workdayは、Workdayの一員として行動するすべての者に対し、誠実に、正直に、倫理に背くことなく職責を果たすことを求めます。誠実さはWorkdayのコアバリューであり、すべてのWorkmateの日々の行動によって支えられています。

適切な贈り物や接待の提供について

当社は、製品やサービスの品質を通じたビジネスの獲得に全力を尽くしています。贈り物、食事、旅行、接待など、ビジネスにおける礼儀上の行為は、お客様や見込み客との強固な関係を築くことができますが、それが過度であったり、透明性に欠けたり、あるいは明確なビジネス目的を果たさなかったりする場合は賄賂とみなされ、当社の信頼を損ない、評判を傷つけるおそれがあります。

ビジネス上の礼儀行為が、適度で、釣り合いが取れていて、十分に文書化されていれば、友好関係や健全な仕事上の関係を築くことができます。ただし、従業員、従業員の家族、代理人などがそのような行為を提供するか、または受け取るには、以下のすべての要件を満たす必要があります。

- 現金ではないこと
- 25ドル以下のギフトカードであること
- 商的慣習に沿っていること
- 妥当な価値であること
- オープンで透明性があること
- 合理的に見て、賄賂や献金と見なされるものでないこと
- 法規制に違反していないこと
- 受け取る側のポリシーで認められていること
- マネージャーの承認を受けていること

少額の贈答品を除き、Workdayの職務の遂行に関連して、第三者から一切の金銭類や実質的利益を受け取ってはなりません。

詳細情報のリンク

贈答品と接待に関するポリシー



誠実さを実現するために

現金または現金に相当するギフトカード（AMEX、Visa、Mastercardなど）の授受は認められません。



誠実さを実現するために

透明性と積極的なコミュニケーションは、Workdayの倫理基準を維持するために不可欠です。利益相反があることは必ずしも規範に違反するわけではありませんが、それを開示しないと規範違反になります。利益相反の可能性がある場合は、マネージャーまたはWorkday Integrityチームに相談してください。

利益相反の回避

当社では、すべてのWorkmateに、責任を果たし、会社の最善の利益を優先することで、信頼と誠実さという当社の価値観を維持することを求めています。つまり、Workdayに代わって行う意思決定や行動に、自らの個人的な利益または他者の利益が影響を及ぼすか、影響を及ぼすように見えるような利益相反が生じる状況は避ける必要があります。

利益相反の可能性があるだけでも注意が必要であることを常に念頭に置いてください。利益相反の可能性について、透明性を保ち、積極的に行動して早期に開示すれば、あなたとWorkday双方の利益が保護され、関係者全員が守られることになります。潜在的な利益相反について懸念がある場合は、マネージャーおよび[Workday Integrityチーム](#)に連絡してください。

利益相反につながるおそれのある一般的なシナリオ

- 金銭上の利益：Workdayと直接競合する会社、同類の会社、またはWorkdayが投資している会社に個人的にまたは家族で投資する場合
- 社外活動：副業、顧問役や取締役への従事、または個人経営事業への従事により、Workdayにおける職務との競合が生じたり、職務遂行の傷害となるおそれがある場合
- 商機：Workdayにおける自身の役職から、個人的に利益を得られる可能性のある機会が生じる場合
- 関係者取引：家族や個人的に親しいつながりを持つ人々と共にWorkdayの業務を行う場合
- 贈答品および接待：Workdayにおける役割に関して、直接または間接的に、過度の贈答品または業務上の接待や取り計らいを受ける場合
- 個人的な関係：部下、上司、同僚と親密な個人的関係を持つことで、意思決定に影響を与え、不当な身びいきを生む可能性がある場合
- 自身が株主である会社、または取締役を務める会社にWorkdayが投資する場合

Workmateは、Workdayでの役割以外にも他のビジネス活動に携わっていることが多いため、潜在的な利益相反が発生する可能性は多いといえます。社外活動や相反する活動について疑問が生じた場合、Workmateは適切に開示し、利益相反を緩和するためのすべての管理計画に従う必要があります。

詳細情報のリンク

利益相反ポリシー



不適切な支払いを防止する

Workdayは取引において誠実かつ透明性を保ちます。不適切な支払いを通じて意思決定に影響を与えることはありません。Workdayの信頼を獲得して維持し、誠実さを保つことは、疑わしい支払いを行うことで得られるビジネス上の利益よりも重要です。有価物のやり取りや支払いが行われる場合は、透明性を保ち、現地法に基づき許容され、正確に報告されるものとしします。

- 当社は、いかなる取引においても、条件や取り決めの明確化に努めます。
- 当社は、いかなる相手にも、形式を問わず、賄賂やキックバックを提供したり、提供を申し出たりすることはありません。
- 当社は、お客様、見込み客、パートナーまたは政府関係者の利益のために、候補者を採用したり、採用を申し出たりすることはありません。
- 当社では、許認可を確保するための支払いや、日常的な行政手続きを早めるための少額の支払い（いわゆる「円滑化のための支払い」）など、あらゆる種類の不正な支払いを禁止しています。
- 当社は、誠実さで定評のあるパートナーと協力し、非倫理的な行為の兆候があれば報告します。
- 当社は、提供する一切の贈答品、接待、旅行が、合法かつ妥当で適切なものであることを徹底します。当社は、米国連邦政府の役人、または公的機関のお客様や見込み客に対し、Integrityチームの事前承認なしに、いかなるビジネス上の便宜も図りません。
- 当社が慈善寄付を行う場合、正当な慈善目的を支持して行います。有利に取り計らってもらうために寄付を行うことはありません。
- 当社が贈答品や接待を求めたり、そそのかしたりすることはありません。

やり取りや支払いが不適切かどうかについて疑問がある場合は、Workday Integrityチームに連絡して指示を仰いでください。

詳細情報のリンク

腐敗行為防止ポリシー



責任あるAIの開発と使用

当社のコアバリューである誠実さへの取り組みは、AI製品やテクノロジーの開発や使用にも及びます。AIは本質的に、設定されたパラメータに基づいて学習し、決定を伝えるテクノロジーであるため、そこには説明責任の新たな領域が生まれます。そこで、私たちが与える影響が、確実に私たちが望む影響であるようにするため、責任あるAIについて非常に慎重に検討しています。

責任あるAI (RAI) プログラムの使命は、公正で説明責任を帯び、透明性を備え、説明可能な、信頼できる革新的なAI製品を設計、開発、展開するというWorkdayの目標を促進することです。

当社のRAIフレームワークは、どのAIテクノロジーを構築して使用するかについて意思決定の指針となる一連の倫理原則に基づいています。詳細については、[当社の原則](#)をご覧ください。

当社は、責任あるAIの実践に従います。

私たちの原則は、ガイドラインや標準を含む一連のRAIプロトコルを通じて実現します。当該プロトコルの目的は、こうしたテクノロジーが社会に良い影響を与えるように、基本的人権に対するリスクを特定して軽減することです。

人間による監視：当社のAI製品とテクノロジーは、特に人々の仕事やお金に関する重大な意思決定を支援するために使用される場合には、人間による監視を念頭に置いて構築されるようにします。

公平性：お客様の信頼を獲得して維持するために、当社ではライフサイクルアプローチを採用し、AIソリューションによって生じる想定外の結果のリスクをマッピング、測定、管理しています。

記録保管：当社では、AIソリューションのログ記録とバージョン管理に関して、慎重に実践するよう努めています。

説明可能性と解釈可能性：私たちは、私たちが構築するAIシステムの基礎となるメカニズムと出力に対して、人々の理解が最大限に得られるよう取り組んでいます。

実用性と信頼性：当社では、適切な基準に照らしてAIソリューションのパフォーマンスのベンチマークを確認しています。

メンテナンスと監視：システム、ツール、コントロールの適用を通じて、AIシステムのリスク、影響、潜在的な危害を把握し、対処するように努めています。

開示と透明性：当社では、AIシステムに関する情報（AIシステムの利用方法に関するオプションを含む）をお客様や一般市民に提供することに最優先で取り組んでいます。

当社では、禁止されているAIの使用例のカテゴリを定めています。

当社のAI倫理原則、お客様からの期待、変化する規制環境に沿って、次の行為は禁止されています。

- **人間の行動の操作：**潜在意識に働きかける技術を採用したり、ユーザーの認識や同意を無視してユーザーを欺いたり操作したりするように設計されたAI製品やテクノロジー

- **脆弱なグループの悪用：**年齢、障害、社会的状況、経済的状況に基づく脆弱性を意図的に狙ったり悪用したりするAI製品やテクノロジー

- **生体認証に基づく配慮を要するグループへの分類：**生体認証データを使用して、個人の配慮を要する特性（人種、民族、政治的意見、宗教的信念など）に基づいて分類するAI製品およびテクノロジー

- **ソーシャルスコアリングと性格プロファイリング：**ビジネス上の正当な理由なく不公平または差別的な扱いにつながる可能性のある、ソーシャルスコアリングや性格プロファイリングに使用されるAI製品およびテクノロジー

- **侵入的な監視／モニタリング：**受動的な活動データ（個人の活動、行動または場所に関する情報を観察および推測するために収集されるデータ）を監視して、次のいずれかのタスクを実行するAI製品およびテクノロジー：**(a)** 個人のパフォーマンスに関する決定を下すこと、**(b)** 保護された活動に従事する個人またはグループの能力を制限すること（休憩の取得、組合潰しなど）、**(c)** 個人またはその経済的機会に損害を与えたり制限したりする可能性のある個人やグループに対する懲戒処分または罰則措置を実施すること（雇用条件に関する決定）。

詳細情報のリンク

責任あるAIの開発ポリシー

監視機能付きAIの禁止の例外と要件



虚偽のない広告

Workdayは自社製品・サービスの特長と品質を武器に競争します。Workdayがお客様や見込み客とコミュニケーションを行うときは、信頼に値する、正確なやり取りを旨としなければなりません。当社は自社製品・サービスについての説明が正しいことを実証できなければなりません。すべての販売促進、広告、マーケティング資料・素材は適切な広告情報承認プロセスを経なければなりません。

公正な競争

Workdayは自由でオープンな競争こそが正しいあり方であると考えています。また、優れた製品・サービスを備えていれば、公平かつ誠実な方法により競合他社に勝つことができると確信しています。

以下の情報を手に入れようとする、または使用することは絶対にあってはなりません。

- 競合他社の入札に関する情報
- 専有情報をコピーしたもの、書き写したもの、またはその画像
- 従業員に過去の雇用主について尋ね入手した、その雇用主の情報
- 企業秘密保護関連の法律で保護されている可能性のある技術データ、エンジニアリングデータを含む情報

当社は以下を実践し、公平な競争によって事業成功を達成します。

- いかなる形であれ、競争やお客様の選択を制限するような一切の公式または非公式の契約、同意、協定を回避する
- 入札において価格の不正操作をせず、または他者による価格の不正操作をほう助せず、競争的なビジネスプロセスを尊重する
- 当社の独立パートナー企業がお客様に課す価格について指図しない



誠実さを実現するために

価格設定や入札に関連する情報など、競争上機密性の高い情報は、いかなる第三者とも決して共有しないでください。第三者が誤ってこの種の情報をあなたと共有した場合、あなたはその情報を使用せず、他者と共有しない責任を負います。

正確な記録

Workdayでは、完全かつ正確で適時な記録を保持する必要があります。適切な記録は、賢明なビジネス上の意思決定に役立ち、財務、監査、規制上の義務を満たすために必要になります。Workdayはさらに、マネーロンダリング、テロ資金供与、脱税を防止するために適用されるすべての法律を遵守しています。当社は資金の送金を決して隠蔽せず、正当な理由および文書化された理由に基づいて正当な出所から受け取った資金のみを受け入れ、他者が適用法に違反することを助長または支援する可能性のある方法でのビジネス行為を拒否します。

すべてのWorkmateは、情報を入力する場合でも、情報を確認する場合でも、記録の正確性に責任を負います。Workmateは常に、次のことを行わなければなりません。

- 真正、明確かつ正確な記録（財務記録を含むが、これに限定されない）を作成し、保管すること
- Workdayの支出、契約、購入の要件に従い、必要な許可を取得すること
- サイドアグリーメント、あらゆる種類の虚偽の取引、誤解を招く取引、偽装取引を含む、正式な記録以外での合意の試みを拒否すること
- 事業上の通信や記録を適切な場所に保管し、法的または他のホールド要請に従うなど、記録を適切に保存および保持すること（承認された場所以外でのWorkdayの情報の保管を回避すること）
- 監査、調査、捜査に協力すること
- 取引の本質的な性質を絶対に隠ぺいしないこと
- 問題であると思う一切の行為を報告すること

財務報告を担当するWorkmateは、特別な倫理上の義務を負い、最高水準の実直さと誠実さを持って行動し、利益相反を避け、説明責任を推し進めます。財務報告を担当するWorkmateにとっては、重大なリスクを認識し、法的な指導を仰ぐ時宜をわきまえ、適用される法律、ビジネス倫理、または本規範のいずれかの規定に違反するおそれのある一切の行為を最高経営責任者、最高法務責任者、監査委員長などに速やかに報告することが重要です。



法律と規制

Workdayは規則に則って事業を運営します。このことは、当社がそのコアバリューに従い、適用される国、州、地域の法規を守って事業を行うことを意味します。これらすべての法律や規制が本規範で明示的にカバーされているわけではありません。Workmateは、事業を行う場所を問わず、適用される法律や規制に精通していなければなりません。

法的要件と本規範に相違があると思われる場合は常に、より厳格な基準を適用します。特に法律や規制に違反する可能性がある場合には、LegalまたはIntegrityチームの指示を仰いでください。

貿易に関する法律

Workdayはグローバル企業として、米国およびその他の該当する管轄区域の貿易法と規制の対象になります。Workmateは、商品、サービスおよび技術の国境を越えた移転に適用される、次のような貿易要件に留意する必要があります。

- 特定の国、団体、個人との取引を禁止する経済制裁
- 当社がある国から別の国へ移送する可能性のある製品、サービス、技術に適用される輸出規制と通関要件
- 米国政府によって認可されていない外交的ボイコットに対してWorkdayが参加または支援することを禁止する反ボイコット規制



誠実さを実現するために

貿易規制または輸出規制が適用されるかどうか分からない場合、または個別の案件においてどの貿易規制または輸出規制が適用されるかわからない場合に、推測で判断してはなりません。行動する前に問い合わせてください。

詳細情報のリンク

グローバル取引ポリシー

インサイダー取引

内部情報に基づく取引の禁止

Workmateは、Workdayまたは当社のお客様、サプライヤー、パートナーに関する重要な非公開情報を知る可能性があります。重要な非公開情報を知りながら株式やその他の証券を取引したり、他者取引を促したりすることは、インサイダー取引とみなされ、本規範および法律の両方で厳しく禁止されています。

情報は、株式の購入または売却の決定に影響を与える可能性がある場合に**重要**とみなされます。プレスリリース、Workdayのブログ、証券取引委員会への提出書類などの公式チャネルを通じてまだ発表されていない情報は、**非公開情報**です。そのような情報の例としては、会社の財務実績、世界的な販売機会、新製品や新サービス、合併や買収、お客様、パートナー、重要な従業員との重大な進展、その他の主要な事業計画などがあります。

私たち全員が、Workdayの高い倫理基準、株主や社会からの信頼、法律の遵守を維持する役割を果たします。不適切な取引と思われる事態を回避するために、当社のインサイダー取引に関するポリシーをよく理解しておく必要があります。



詳細情報のリンク

インサイダー取引に関するポリシー



取引制限期間

2025年7月15日以降、すべてのWorkmateは、Workdayの取引制限期間の対象となります。四半期ごとの取引制限期間中、Workmateには、Workdayの株式の購入、売却、または譲渡が禁止されます。



誠実さを実現するために

Workdayの株式を売却する予定はありますか？ **重要な非公開情報を知っている場合**、取引の理由が当該情報に無関係であっても、**取引が禁止される**ことに留意してください。必ず、今後の取引制限期間を考慮して売却を計画してください。

重要な非公開情報を他者と共有する行為は、いわゆる「ティッピング」と呼ばれ、その情報で自ら取引を行うのと同じくらい重大な行為です。重要な非公開情報は、配偶者、家族、友人であってもWorkday社外の人と共有しないでください。また、重要な非公開情報を認識していない場合でも、Workdayの株式に関する取引の助言を他者に提供することはできません。Workday内においては、非公開情報は業務上知る必要があるWorkmateとのみ共有してください。

政府、行政との関係

Workdayは、当社が事業を行っているすべての地域において、政府の役人およびその他関係者に公正かつ誠実に対応することにより、国、地域、州、地方の政府または行政と良好な関係を築いています。

Workmateには、政府もしくは行政との取引において信頼される存在となり、実直で忌憚のない交流を育むことが求められます。また、政府職員または政府代表者に虚偽の情報や紛らわしい情報を提供するよう他者に指図したり、促したりしてはなりません。

Workmateは以下についても注意する必要があります。

- 政府の代理人、職員、または政府関係者と取引を行う場合、追加要件の遵守が求められるのはめずらしいことはありません。本規範、汚職防止ポリシー、その他の関連ポリシー、およびすべての現地法に留意してください。
- 政府関係者が関与する贈答品またはビジネス上の接待は、Workday IntegrityチームまたはLegal, Compliance, and Corporate Affairsから事前に承認を受けてください。許可を得ずに政府関係者に接待を提案することは一切できません。
- 事業上の判断に不適切な影響を及ぼす目的で、またはその見返りとして、慈善寄付を行ってはなりません。
- Corporate Affairsの事前承認がない限り、選挙結果や政策問題に関してWorkdayの立場を黙示または示唆するべきではありません。
- 調査が必要になった場合、または合理的に必要な可能性がある場合は、直ちに法務部門に連絡してください。調査に関連するすべての記録は保存する必要があります。調査に関連する記録が破棄されるおそれがある場合は報告する必要があります。

詳細情報のリンク

公的機関の事業における契約とやり取りに関するポリシー



米国政府、行政とのやり取りに関するポリシー

一般への開示

Workdayが社外（マスコミ、投資家、世間一般など）と共有するすべての情報は、正確かつ完全で一貫性のあるものでなくてはなりません。一般向けまたは規制当局とのコミュニケーションにおけるすべての開示は、完全に、公正に、正確に、適時に、理解可能な形で行う必要があります。

Workdayまたはその事業活動に関する情報は、承認されたWorkday広報担当者のみが共有できます。報道関係者や業界アナリストからの問い合わせは、Workday Corporate Communicationsチームに付託してください。財務と投資に関する問い合わせは、Workday Investor Relations部に付託してください。こうした問い合わせがあった場合は、自身で回答せずに、問い合わせがあったことを直属のマネージャーに知らせる必要があります。Workdayについてオンラインで話題にする際のガイダンスについては、当社の[ソーシャルメディアポリシー](#)を参照してください。



誠実さを実現するために

Workdayに関して、メディア、アナリスト、ソーシャルメディア担当者と関わり合うことはしないでください。こうした問い合わせはすべて、直属のマネージャーまたは次の適切なWorkday部門に付託してください：Corporate Communications、Investor Relations、またはLegal, Compliance, and Corporate Affairs。

人権に対する当社の取り組み

Workdayは、すべての個人の基本的尊厳と権利を尊重します。当社の世界規模の事業活動は、人権に対する深い敬意と責任ある事業慣行への取り組みに導かれています。当社は世界各地で事業を行っており、人権の尊重に尽力しています。

当社は、以下の事項に配慮してすべての業務に取り組んでいます。

- **公正かつ倫理的な労働：**当社は、あらゆる形態の強制労働、搾取的な児童労働、人身売買、その他の現代の奴隷制度を糾弾します。当社は、現代の奴隷制度のない職場とサプライチェーンの構築に努めています。当社は、従業員の合法的な結社の自由の権利を尊重します。
- **公正かつ権限を与える雇用：**当社は、従業員が基本的なニーズを満たせるよう、公正な報酬を支払っています。当社は、従業員が知識、スキル、能力を伸ばし、専門家としての成長への扉を開くことができる環境を育んでいます。当社は、個人の適性と実績のみに基づいて、雇用、報酬の支払い、昇進、懲戒、その他すべての雇用条件の決定を行います。
- **多様性と包括性：**当社は多様性を受け入れ、誰もが価値を認められ、尊重されていると感じられる包括的な職場環境を育んでいます。当社は差別を禁止し、雇用のあらゆる面において平等な機会を確保します。
- **安全で健康的な職場：**当社は、従業員の安全と健康を最優先し、安全で健康的な職場環境を維持します。
- **環境に対する責任：**当社は、持続可能な実践と責任ある資源管理を通じて、環境への影響を最小限に抑えるよう努めています。
- **倫理的なAI開発：**当社は、AIテクノロジーを責任をもって開発および導入し、公平性、透明性、説明責任を最優先にしています。
- **紛争のない調達：**当社は、紛争鉱物の使用を拒否しており、サプライヤーにも同じ基準を遵守することを期待しています。
- **プライバシー保護：**当社は、個人データを保護し、プライバシーを基本的人権であると考えています。



誠実さを実現するために

Workday Giving & Doing（奉仕活動部）では、当社のコミュニティ活動と会社リソースの許容される使用方法に関する情報を提供しています。

企業の社会的責任

政治的貢献

投票権の行使は、私たち全員が実行できる最も重要なことの1つであるとWorkdayは確信しており、従業員が政治のプロセスに参加する権利を尊重しています。個人の貢献を通して政治のプロセスを支援することを選択することはできますが、Workdayの代理として支援を行うことはできません。また、公職候補者や政治団体のために、個人の時間で（勤務時間外に）ボランティア活動を行うことができます。ただし、そのために会社の設備、電子メール、コンピューター、消耗品など、一切のWorkdayのリソースを使用することはできません。

慈善的寄付

Workdayは、当社従業員が個人的に関わっている団体に対してボランティア活動を行うことを奨励し、募金活動やボランティア活動に対するマッチング寄付の機会を設けています。Workdayリソースを使用する慈善団体やその他非営利団体に対するその他の支援は、適切な承認を受ける必要があります。Workdayによる慈善団体への寄付は、当社のスポンサーシップと慈善寄付に関するポリシーおよび承認プロセスの対象となります。不正なビジネス上の優位性を得るため、見返りとして、または従業員の個人的な利益のために、Workdayのリソースを使用した寄付をしてはなりません。

環境サステナビリティ

Workdayは従業員と地球を大切にすることに尽力しています。当社のSustainabilityチームは、利害関係者へのコミットメントを支援し、かつ当社のコアバリューに沿う環境サステナビリティに向けて率先して取り組んでいます。環境への影響を軽減しながら成功に導く組織づくりに関する重要事項を詳しく知りたい場合は、[グローバルな影響に関する報告書](#)をご覧ください。

Workdayは適用されるすべての環境法規制を遵守しなければならず、同様のことがサプライヤーやパートナー企業にも求められます。Workdayのサプライヤーおよびパートナー企業に関する行動規範には、当社のサステナビリティについて求められる事柄の概要が記載されています。詳細については、sustainability@workday.comまでお問い合わせください。

詳細情報のリンク

スポンサーシップおよび慈善寄付に関するポリシー

グローバルな影響

当社は、Workdayファウンデーションおよび寄付と奉仕活動に対するWorkmateの深いコミットメントを通じたさまざまな方法で、全世界の各地域社会と関わりを築いていることに誇りを持っています。地域社会のために時間を費やし、専門知識を活かし、直接的に貢献することは、Workdayの企業文化の中核です。

当社には、地域社会への投資の指針となる3つの主要な優先事項があります。

- **Workmateの貢献:** 当社は、地域社会に参画することを希望するWorkmateを支援します。
- **無償の貢献:** 当社はスキルに基づくコンサルティングプロジェクトを通じて、社会的問題の解決を支援するためにWorkmateの時間と才能を捧げます。
- **利他的貢献:** 当社は恵まれない市民の経済的自立をさらに後押しするために、労働力開発の取り組みに投資します。



詳細情報のリンク

環境サステナビリティに関するポリシー

ポリシーの管理、適用免除、修正

Workdayの取締役会は、直接またはその委員会を通じて、本規範の遵守を監督し、必要に応じて本規範を修正する権限を有します。本規範の遵守を徹底するために、Workdayのインテグリティ兼コンプライアンス担当最高責任者は、取締役会とその委員会の両方、またはいずれかに報告します。

適用免除：執行役員および取締役に対して本規範の規定の適用を免除するには、Nasdaq上場要件に従って取締役会または適切な取締役会委員会の承認が必要になります。当該免除は、適用法や規制の規定に従って公表されます。その他のすべてのWorkmateに対する免除については、Workdayの最高法務責任者により書面にて認められることがあります。

修正：Workdayは、ポリシーと手順を継続的に見直し、更新することに尽力しています。そのため、本規範は、進化するベストプラクティスと規制要件を反映するために、取締役会またはその代表者によって修正される場合があります。

